

釧路工業高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	物理II				
科目基礎情報								
科目番号	0007	科目区分	一般 / 選択					
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1					
開設学科	電子工学分野	対象学年	4					
開設期	後期	週時間数	2					
教科書/教材	テキストは使用せず、プリントを用意する。物理・応用物理の教科書は適宜参考にする。							
担当教員	澤柳 博文							
到達目標								
運動方程式をたて、その解を求められる。(等加速度運動、速度に比例する抵抗がある場合) 力学的エネルギー、運動量、角運動量の保存則を利用する問題が解ける。 単振動及び周期運動が解ける。								
ルーブリック								
評価項目1	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
	運動方程式をたて、その解を求められる。その解を用いていろいろな量を求められる。	運動方程式をたて、その解を求められる。	運動方程式をたてられない。またはその解を求められない。					
評価項目2	力学的エネルギー、運動量、角運動量の保存則をたて、必要な量を求められる。	力学的エネルギー、運動量、角運動量の保存則をたて、必要な量を求められる。	力学的エネルギー、運動量、角運動量の保存則をたてられない。またはそれらを利用して問題が解けない。					
評価項目3	運動方程式を解いて振動問題が解ける。エネルギー保存則を用いて振動	運動方程式を解いて振動問題が解ける。エネルギー保存則を用いて振動	運動方程式が解いて振動問題が解ける。エネルギー保存則を用いて振動					
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標 C JABEE c								
教育方法等								
概要	過去の大学編入問題を解くことにより、演習問題を解く力を養うとともに、物理のより深い理解を計る。							
授業の進め方・方法	必修の物理・応用物理とはかなりレベルギャップがある。また、受講生の復習状況により、授業の内容がシラバスと大きく変わることがある。毎時間演習をするので、時間内でできない問題は各自やること。試験の間違いを訂正したやり直しレポートを提出すること。 定期試験の平均点で評価する。平均点が60点を超えた学生に対して授業態度・レポート・課題点等を基準の範囲内 (+ - 10%) で加味する。 科目的性格上、再試は行わない。 自分で問題を解くことが基本である。それができない場合、単位修得は難しい。 関連科目：1～4年物理、応用物理、各種専門科目、応用数学							
注意点								
授業計画								
	週	授業内容	週ごとの到達目標					
後期	3rdQ	1週	・ガイダンス ・次元解析					
		2週	・速度、加速度 ・運動方程式と積分					
		3週	・運動方程式 (1)					
		4週	・運動方程式 (2)					
		5週	・仕事と保存力					
		6週	・力学的エネルギー保存則					
		7週	・束縛運動					
		8週	後期中間試験:実施する					
	4thQ	9週	・運動量・角運動量 (1)					
		10週	・運動量・角運動量 (2)					
		11週	・振動・周期運動 (1)					
		12週	・振動・周期運動 (2)					
		13週	・振動・周期運動 (3)					
		14週	・振動・周期運動 (4)					
		15週	・総合演習					
		16週	後期末試験:実施する					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

